

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

旧制鳳中学校時代からの綱領「誠実・剛健・進取」のもと、普通科単位制高校ならではの恵まれた学習環境を活かし、生徒が広い視野を持ち、他者と協働しながら、「自分ごと」として様々な課題に取り組めるよう支援することで、将来の地域社会の中核を担う者として、その発展に貢献できる人材を育成します。

(めざす生徒像)

- 1 将来に向かって高い志を抱き、信念を持って果敢に挑戦する生徒
- 2 自らの夢や目標に向けて、本校入学後も向学心を持って勉学に取り組む生徒
- 3 本校の普通科単位制のシステムを活用し、進路実現に向けた幅広い知識と情報の吸収を意欲的に行う生徒
- 4 学業のみならず、部活動や学校行事等を通して、自己の成長のために努力を惜しまない生徒

2 中期的目標

1 前に踏み出す力

「自分ごと」として物事を捉え、様々な課題に向き合い、粘り強く取り組んでいく姿勢一鳳プライドを育成する。

- (1) 生徒が主体的に取り組む進路学習・キャリア教育を充実させる。
- (2) 新学習指導要領・大学入試改革を見据えた校内体制・教育活動を充実させる。
- (3) 単位制普通科の優位性を活かしたガイダンス体制の一層の充実を図る。

2 考え抜く力

広い視野を持って、様々な課題に取り組むために知識を蓄え考える力一知の基盤を育成する。

- (1) 学びの質の向上に向け、知識・技能の確実な定着を図る。
- (2) 学校行事・自治会活動・部活動等において、生徒の創意工夫をより引き出す取組みを進める。
- (3) カリキュラム・マネジメントを確立し、授業・評価及び組織運営の改善に取り組む。

3 自立して歩む力

個性を活かしつつ、他者と協力して目標を達成できる力一高い協働性を育成する。

- (1) 自他を尊重し、多様な価値観を認められるよう人権教育・道徳教育に計画的に取り組む。
- (2) 地域や外部機関等を活用して、安心安全な学校づくりを推進する。
- (3) 基本的な生活習慣の確立、マナーの向上、学習活動と学校行事・部活動との両立をめざす。
- (4) ノークラブデーや学校休業日を確実に実施するとともに、時間外労働が月80時間以上の教員を減少させていく。

※ R07は国公立大学進学者70名(R02 53名、R03 54名、R04 65名)、難関私立大学合格者200名程度(R02 246名、R03 211名、R04 230名)をめざす。

※ R07までガイダンスに係る生徒の満足度90%以上を維持する。(ガイダンス R02 98%、R03 94%、R04 94%)

※ R07は進路指導に係る生徒の満足度90%以上とする。(進路指導 R02 89%、R03 86%、R04 85%)

※ R07まで授業理解の肯定的評価80%以上を維持する。(R02 80%、R03 81%、R04 81%)

※ R07は生徒の自己管理能力の肯定的評価80%(R02 78%、R03 78%、R04 78%)をめざし、生徒・教職員とのギャップを20ポイント未満(R02 18p、R03 23p、R04 6p)を維持する。

※ R07まで生徒・保護者の学校満足度「入学して満足」85%以上を維持する。(生徒：R02 84%、R03 88%、R04 85%、保護者：R02 89%、R03 89%、R04 91%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路に必要な科目が選択できる」には例年並みの95%が肯定的回答をしている。また、「将来の進路について考える機会がある」で『よくあてはまる』の回答が7ポイント増加(44%)している。 ・授業理解の肯定的回答は2ポイント増加の83%である。また、授業での主体的活動の機会は『よくあてはまる』が12ポイント増加(57%)した。一方で「授業でわからないところは先生に聞く」の肯定的回答は3年連続で2ポイント以上減少(52%)している。 ・自己管理能力の肯定的回答は例年並みの79%であり、部活動との両立の肯定的回答も例年並みの71%となっている。 ・「学校が楽しい」の肯定的回答は例年並みの86%である。「あてはまらない」は3ポイント減少し1%であったが、「あまりあてはまらない」とあわせると例年並みの14%である。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の授業への取り組み・理解」の肯定的回答は90%以上である。 ・「気軽に相談しあえる職場の人間関係」の肯定的回答は22ポイント増加(94%)している。一方で「分掌間や学年間の連携」の肯定的回答は68%にとどまっている。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入学させて満足」の肯定的回答は例年並みの92%である。 ・「子どもは行事に積極的に参加」は6ポイント増加(88%)し、「保護者の行事参加」は28ポイント増加(88%)した。 ・「進路指導に関する情報提供」の肯定的回答は8ポイント増加(66%)したが、「学校ホームページ等の閲覧」は6ポイント減少(49%)した。 	<p>【第1回】(7/14)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信について、ホームページやSNS等を通じて積極的に発信していく必要がある。 ・地域で活躍している卒業生が多くいる。進路指導にもっと卒業生を活用できればよいのではないか。 <p>【第2回】(12/15) (令和6年度の行事予定を含めた検討の進捗状況について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度議論されていたものが盛り込まれている。 ・目的を明確にした行事の精選が必要である。(校内委員会再編について) ・廃止した委員会については、必要な業務を精査し、どこに引継ぎをするか明確にする必要がある。(制服改定の検討について) ・校風や、地域の理解も踏まえて検討をすべきである。 <p>【第3回】(3/1) (令和5年度学校教育自己診断結果を受けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答が90%を下回っている。 ・普通科単位制を含めて、鳳高校がどんな学校か中学生に伝わるような工夫が必要である。(令和6年度学校経営計画(案)について) ・外部連携の推進、制服改定の検討、DXハイスクールなど様々な仕掛けでアピールを。 ・卒業生が「楽しかった」といえるような一体感を持てるような学校づくりを。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 (R4年度値)	自己評価
<p>1 前に踏み出す力 「自分ごと」として物事を捉え、様々な課題に向き合い、粘り強く取り組んでいく姿勢—鳳ハイライナーを育成する。</p>	<p>(1) 主体性 生徒が主体的に取り組む進路学習・キャリア教育を充実させる。</p> <p>(2) 働きかけ力(教員) 新学習指導要領・大学入試改革を見据えた校内体制・教育活動を充実させる。</p> <p>(3) 実行力 単位制普通科の優位性を活かしたガイダンス体制の一層の充実を図る。</p>	<p>【物事に進んで取り組む力】 ア 総合的な探究の時間、LHR等を改善充実させ、計画的に実施する。 (ア)進路学習・キャリア教育の内容、実施時期・提供方法の工夫及び大学、教育産業等の活用 (イ)長期休暇中等の講習を継続・充実</p> <p>【他人に働きかけ巻き込む力】 ア 新学習指導要領導入2年めであり、観点別学習状況評価を昨年度より多くの科目で実施することで、主体的・対話的で深い学びや英語4技能育成のための授業実践を更に充実させる。 イ 生徒の学習状況、進路等のデータ分析や情報共有を推進する。その際、外部テストや学習支援ツール等の学習教材も積極的に活用して効率・効果を高める。</p> <p>【目的を設定し確実に行動する力】 ア 生徒の進路意識を高め、最適な科目選択を行えるよう、生徒自ら進路の資料・情報を収集し咀嚼する機会を計画的に提供する。 (ア)全教員によるガイダンス(年2回)及び科目選択申請書点検。 (イ)学習や進路意識の診断結果等を活用した懇談・ガイダンスを充実させる。 (ウ)専門家による説明会、講演会等を活用して将来のイメージを具体化させる。 (エ)科目選択モデル案の改善</p>	<p>ア (ア)「生徒が進路資料・情報を自分で集める努力をしている」を70%以上(76%)で維持する。 (イ)「生徒の講習への参加状況」を3年40%以上(42%)、全学年35%以上(38%)を維持する。</p> <p>ア「生徒の授業理解」を80%以上(81%)で維持する。 「生徒が自ら考えたり、主体的に学んだり活動したりする機会がある」を教員80%以上(83%)、生徒90%以上(95%)で維持する。 イ・大学入学共通テスト受験者の国語、数学、英語の平均点が全国平均を上回ることをめざす。(国語+6.3:数学+3.1:英語+4.9) ・平日の「自学自習時間」2時間以上の生徒について、1、2年生は25%(21%)、3年生は80%(78%)をめざす。</p> <p>ア (ア)「生徒が進路資料・情報を自分で集める努力をしている」を70%以上(76%)で維持する。 (イ)「ガイダンスへの肯定的評価」を90%以上(94%)で維持する。 (ウ)「将来の生き方や進路について考える機会の提供」を80%以上(85%)で維持する。 (エ)「コース選択や進路情報の提供」を80%以上(85%)で維持する。</p>	<p>(1) 主体性 ア (ア)79%【◎】 (イ)3年57%、全学年35%【○】</p> <p>(2) 働きかけ力 ア 生徒の授業理解83%【○】、生徒が自ら考えたり、主体的に学んだり活動したりする機会がある 教員92%、生徒96%【○】</p> <p>(2) 働きかけ力 イ 大学入学共通テストは、国語は7.2点、数学は5.6点、英語は2.5点全国平均を上回った。【◎】 生徒の平日の自学自習時間1、2年16%、3年89%【△】</p> <p>(3) 実行力 ア (ア)79%【◎】 (イ)95%【◎】 (ウ)90%【◎】 (エ)88%【◎】</p>
<p>2 考え抜く力 広い視野を持って、様々な課題に取り組むために知識を蓄え考える力— 知の基盤—を育成する。</p>	<p>(1) 課題発見力(教員) 学びの質の向上に向け、知識・技能の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの構築をめざす。</p> <p>(2) 計画力 学校行事・自治会活動・部活動等において、生徒の創意工夫をより引き出す取組みの充実を図る。</p> <p>(3) 創造力 カリキュラム・マネジメントを確立し、授業・評価及び組織運営の改善を進める。</p>	<p>【現状を分析し目的や課題を明らかにする力】 ア 校内教職員研修の充実を図る。 (ア)教科を超えた授業見学や若手教員の資質向上を図る取組みを推進する。 (イ)ICT活用授業委員会を起点に、ICTを活用した授業実践や長期欠席生徒の支援に向けた教員研修の実施、好事例の共有等に努める。</p> <p>【課題の解決に向けたプロセスを明らかにして準備する力】 ア 学校行事等の創意工夫に努める。 (ア)生徒自治会・委員会の活動を中心に実施する。 (イ)学年や学校行事等との連動を意識して実施する。</p> <p>【新しい価値を生み出す力】 ア カリキュラム・マネジメントを推進する。 (ア)カリキュラム委員会やICT活用授業改善委員会等を核に教育活動を俯瞰して検討を進める。 (イ)データ処理や情報共有を工夫して、授業アンケート、外部テスト等の結果を授業改善に生かす。</p>	<p>ア (ア)教員相互の校内授業見学週間の実施 若手教員研修を核に校内研修・情報交換会を年3回(10回)は実施する。 (イ)校内研修は1回以上(6回)、好事例の共有は3回以上(10回)実施する。</p> <p>ア (ア)「自治会活動の有用感」を80%以上(84%)で維持する。 (イ)「自分は積極的に学校行事に参加した」を90%以上(92%)で維持する。</p> <p>ア (ア)新しいカリキュラムの整備状況 ・授業におけるICTの活用をテーマとした校内研修・情報交換会を年3回(6回)は実施する。 ・「教員のICT機器の活用」について、教材研究(89%)・授業での活用(84%)ともに85%以上とする。 (イ)外部テストの結果分析会等の実施状況 「生徒の授業理解」を80%以上(81%)で維持する。※再掲</p>	<p>(1) 課題発見力 ア (ア)教員相互の校内授業見学週間を実施。研究授業や研究協議は初任者及び10年経験者によるものを含め、年間3回実施した。【○】 (イ)ICT委員会を核にした学力向上委員会を組織し、ICT活用を含めた授業実践の共有を行った。(3回)【○】</p> <p>(2) 計画力 ア (ア)87%【◎】 (イ)93%【○】</p> <p>(3) 創造力 ア (ア) ・キャリア育成PTを組織し、組織運営の改善を進めた。(7回)【○】 ・教員のICT機器の活用教材研究96%、授業83%【○】 (イ)83%【○】</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 自立して歩む力 個性を活かしつつ、他者と協力して目標を達成できる力—高い協働性—を育成する。</p>	<p>(1)発信力 傾聴力 柔軟性 自他を尊重し、多様な価値観を認められるよう人権教育・道徳教育に計画的に取り組む。</p> <p>(2)状況把握力 地域や外部機関等と連携する。</p> <p>(3)規律性 基本的な生活習慣の確立、マナーの向上、学習活動と学校行事・部活動との両立、ストレスコントロール力、安心安全な学校づくりを推進する。</p>	<p>【自分の意見をわかりやすく伝える力】 【相手の意見を丁寧に聞く力】 【意見の違いや相手の立場を理解する力】</p> <p>ア 人権 HR、人権映画鑑賞や教職員人権研修を柱に据えて取り組む。 (ア)新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識を踏まえ、いじめや差別防止等の課題への取組みを継続する。</p> <p>(イ)各種学校行事、史跡探訪、国際交流研修、スピーチコンテスト等を活かして、自分の意見をわかりやすく伝えるとともに、多様な価値観に触れたり、協働したりする活動を設定し、コミュニケーション力を高める。</p> <p>【自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力】</p> <p>ア 地域や中学生等への広報の充実に努める。保護者に対しては、Google クラウドを通じて連絡プリントを配信する際の、内容の末尾に最新の記事へのリンクアドレスを記載したり、内容の更新に関する情報を別途提供したりするなど、学校のホームページや公式 SNS にアクセスしやすくなるような工夫に努める。</p> <p>【社会のルールと人との約束を守る力】</p> <p>ア 日常生活指導と強化週間とを効果的に連動させる。 (ア)登下校時の安全指導(特に自転車指導)の継続</p> <p>(イ)「朝の読書」の時間や SHR の活用</p> <p>(ウ)「集中と切り替え」を指導し、学習活動と部活動・学校行事の両立を図るとともに、外部テストや学習支援ツール等の学習教材も積極的に活用して家庭学習の定着を図る。</p> <p>【ストレスの発生源に対応する力】</p> <p>イ 教育相談委員会やスクールカウンセラーとのケース会議を通して、課題を抱える生徒の情報共有、適切な対応を進める。 (ア)教育相談室を生徒にとってさらに安心できる場所となるよう充実に努める。 ウ 月毎の時間外労働の把握と必要に応じて縮減に向けた指導を継続して行う。</p>	<p>ア (ア)「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」を 80%以上(85%)で維持する。 ・「教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談することができる」を 70%以上(76%)で維持する。 (イ)「授業などで自ら考えたり、主体的に学んだり活動したりする機会がある」を 90%以上(95%)で維持する。</p> <p>ア 学校 HP の利用状況の向上 ・保護者「学校のホームページ・SNS をよく見る」60%以上(55%)をめざす。 ・教員「情報提供の手段として、学校のホームページ・SNS が活用されている」を 90%以上(96%)で維持する。</p> <p>ア (ア)「学校は基本的な生活習慣の確立に力を入れている」を 85%以上(88%)で維持する。 (イ)遅刻登校者数 3,000 件未満(2,128 件)を維持する。 (ウ) ・平日の「自学自習時間」2 時間以上の生徒について、1、2 年生は 25%(21%)、3 年生は 80%(78%)をめざす。※再掲 ・部活動加入率を 85%以上(88%)で維持する。 ・「学習と部活動の両立ができていない」を 70%以上(72%)で維持する。 ・生徒の「自己管理能力は十分にある」を 75%以上(78%)で維持し、教職員(71%)とのギャップを 20 ポイント未満(6 ポイント)とする。</p> <p>イ (ア)「悩みが相談しやすい」を 50%以上(50%)を維持する。 ウ ノークラブデー等の完全実施。月 80 時間以上の時間外労働教職員数を 17 名未満(17 名)とする。</p>	<p>(1) 発信力・傾聴力・柔軟性 ア (ア) ・命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある 84%【○】 ・教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談することができる 81%【◎】 (イ) 96%【◎】</p> <p>(2) 状況把握力 ア ・学校のホームページ・SNS をよく見る 49%【△】 ・情報提供の手段として、学校のホームページ・SNS が活用されている 89%【△】</p> <p>(3) 規律性・ストレスコントロールカ ア (ア) 88%【○】 (イ) 3750 件【△】 (ウ) ・生徒の平日の自学自習時間 1、2 年 16% 3 年 89%【△】 ・部活動加入率 86%【○】 ・学習と部活動の両立ができていない 70%【○】 ・自己管理能力は十分にある 生徒 79%、教員 70% ギャップは 9 ポイント【◎】</p> <p>イ (ア) 57%【◎】 ウ 月 80 時間以上の時間外労働教職員数は 18 名【△】</p>
---	---	---	--	---